

研究課題名	自己血貯血における人參養栄湯の併用による貧血改善効果に関する研究
研究の意義・目的	妊婦の自己血貯血を行う際に貧血の進行が懸念されます。前置胎盤症例に対して自己血貯血を行った場合、帝王切開に備えて貧血を改善させるために大阪市立大学医学部附属病院では鉄剤の投与を行っています。人參養栄湯は貧血に対する漢方薬として知られていますが、妊婦に対する自己血貯血の際に大阪市立大学医学部附属病院では2019年1月以降はフェロミア錠に加えて、人參養栄湯9g/日の投与を併用して行っています。私たちは鉄剤に人參養栄湯を併用することによってより強い貧血改善効果が現れるのではないかと仮説を立てました。本研究は、妊婦に対する人參養栄湯の貧血改善効果を比較検討することを目的としています。
研究を行う期間	「研究機関の長の研究実施許可日」～2027年3月
研究協力をお願いしたい方(対象者)	2016年1月以降に大阪市立大学医学部附属病院の産婦人科で、前置胎盤に対する帝王切開に備えて自己血輸血を実施された方が対象となります。2019年1月以降に自己血貯血を行った方にはフェロミア錠に加えて人參養栄湯を併せて投与していますので、自己血実施を実施した時期により鉄剤単独投与した方と人參養栄湯を併用投与した方に分けて研究させていただきます。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 診療情報：病歴、診断名、年齢、身長、体重、血液検査データ、手術記録、輸血の有無、分娩時出血量、児の出生体重、性別
試料・情報の他機関への提供	この研究は大阪市立大学医学部附属病院産婦人科のみで行い、他の機関に試料・情報は提供いたしません。
この研究を行っている共同研究機関	この研究は大阪市立大学医学部附属病院産婦人科のみで行います。
試料・情報を管理する責任者	大阪市立大学大学院医学研究科 女性生涯医学 研究責任者 三枚卓也
本研究の利益相反	利益相反の状況については研究者等が利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪市立大学大学院医学研究科 女性生涯医学 (担当者氏名) 三枚 卓也 電話番号：(06) 6645-3862 メールアドレス： gr-med-obandg@omu.ac.jp